

出張報告書

平成29年2月17日

市議会議長 岸田 厚 様

会 派 名 刷新クラブ

代表者氏名 京西 且哲

下記のとおり報告します。

記

1 目 的

- ① 橿原市：八木駅南市有地活用事業について

2 出 張 先

- ① 橿原市：橿原市役所

3 出張期間 平成29年2月14日(火)

4 出張者氏名 京西且哲・西田武史

5 てん末報告 別紙とおり

報告書

会派名 刷新クラブ

代表者 京西 且哲

橿原市：八木駅南市有地活用事業について

説明者：寺田和政（議会事務局副局長）・小林修作（総合政策部副部長）・植木良佑（八木駅周辺整備課副統括）・松井昌宏（八木駅周辺整備課統括調整員）

内 容：橿原市は多くの歴史的遺産と重要文化財を多く含む中世の町並みを残したエリアを持つ観光価値の高い場所である。

今回の事業は、平成13年度より近鉄八木駅南側の市有地の開発であり、4代にわたる市長の懸案事項でも有った様だ。これまでに、2度の市有地活用計画が断念され、3度目の今回、市長のトップセールスもあり実現に結びついた事業である。

内容としては、市の総合窓口集約した分庁舎とまちの賑わいを創出する商業機能、そして、我が国初となるホテルとの複合施設で、事業スキームはPFI(BTO)方式によりおよそ100億円の事業費を毎年6億円ずつの返済で20年間の返済計画を立てている。

決定に至るまでは、一般的な検討委員会に加え、市議会として全議員参加の特別委員会を組織し、全12回の議論を得ている。

今回驚いたのは、この事業が終わり次第、現存の本庁舎を建て替える計画を持っている事である。実際に本庁舎は本市と同レベルの古さで、これまでに、本市同様学校施設を

先行して耐震化が進められ、やっと完了したことによるものだそうだが、市の勢いを改めて感じた。

本市としても、市庁舎の老朽化に加え、宿泊施設の誘致が進まない現在、このような手法も視野に入れながら検討すべきである。